

アーベルウィーク 2025

2025 年のアーベルウィーク概要

オスロで桜の開花が終わりに近づく中、日本のアーベル賞受賞者である柏原 正樹氏の記念行事が始まります。5 月 19 日から 22 日まで、学者、世界的な数学者、科学ジャーナリスト、若手の数学オリンピック選手らがオスロとトロンハイムに集まり、数学を科学として、そして学問として祝うためのイベントが開催されます。

ハイライトは、5 月 20 日に大学のアウラ講堂で、ハーラル国王陛下が科学賞を授与する瞬間です。その祝典の真ん中に立つのは、世界でも最も影響力のある数学者の一人、日本の京都大学所属の柏原 正樹氏です。

柏原氏は、代数解析と表現論という 2 つの分野における画期的な科学的貢献により、この賞を受賞しました。これらの分野は、数学と自然におけるパターンと構造の理解に貢献する可能性があります。

数学の先駆者

柏原氏は、50 年以上にわたり現代数学の発展に多大な貢献をしてきました。若き日に、彼は D 加群理論の基礎を発展させ、代数解析学を用いて複雑な微分方程式を研究する道を拓きました。

柏原 正樹氏は1947年に日本で生まれ、幼少期から数学と論理パズルに魅了されました。

彼は代数解析の創始者である佐藤 幹夫氏の下で学び、現在ではこの分野の核心を成す理論を早期に確立しました。

若者が柏原氏と出会う

若者もまた、数多くのイベントに参加するよう招待されています。その中には、カーリ・ネッサ・ノルトウン教育大臣が「今年の数学教師」にホルムボー賞を授与する式典への参加も含まれます。

さらに、若者たちはエマージング・タレントという、ドイツ、フランス、オランダ、ハンガリー、ノルウェーの若き数学の才能を対象としたプログラムにも参加しています。

アーベル大会の受賞者とユース・アーベルの受賞者はいずれもトロンハイム出身です。これらの若者は国際的な環境で育ち、多くの親がトロンハイムの研究コミュニティとつながっています。

トロンハイム出身のイーヴァル・フェーヴァン（17歳）とトロンハイムのトーラ・ストルム高校の生徒は、今年のアーベル大会で上位に進出し、オスロでのイベントに参加しています。

トロンハイムのビラリー・インターナショナルスクールには、5月下旬に北欧レベルで開催

されるユース・アーベル大会に参加する女子2名と男子2名からなるチームがあります。

彼らは、同じ学校の数学教師で、過去にエマージング・タレントにも参加した経験のあるペドロ・サントスを伴っています。

他の若者との交流

若者は世界中の同年代の若者たちと交流する機会を得るとともに、著名な数学者たちからアドバイスを受ける「若き数学者たちへの助言」と題した特別な対話型ランチに参加します。

これらの著名な数学者は、「16歳の自分」へのアドバイスとして、若者が数学を将来の研究キャリアや実践的な分野でどのように活用できるかについてのヒントを提供します。アドバイスは、彼らが若くして進路を選択する際、自分自身が知りたかったことに基づいています。

さらに、受賞者である柏原氏は5月22日にトロンハイムを訪問し、ノルウェー科学技術大学 NTNU を訪問するほか、大司教館での晚餐会に出席し、今年の受賞者と約150人の生徒と交流します。

「アーベル賞は、私が知る限り、若者に特別な機会を提供する唯一の研究賞です」と、アーベル委員会のヘルゲ・ホルデン委員長は述べています。

橋を架ける人

今年のアーベル賞受賞者は、英国の科学ジャーナリスト、ティマンドラ・ハークネスによって「橋渡し役」と形容されています。

「柏原 正樹氏は、数学の異なる分野の間で橋を架ける人物です。単なる二つのアイデアを結ぶ小さな橋ではなく、数学の世界を跨ぐ壮大な橋を築いています」

ティマンドラ・ハークネス「*Masaki Kashiwara's work – for non-mathematicians*」アーベル

賞 2025

ノルウェーの数学者アルネ・B・スレッツショも柏原氏の研究について執筆しています。彼は柏原氏が異なる分野間で手法を転用する方法を説明しています。

「D 加群理論において、柏原氏は代数解析学を用いて解析学の問題、特に微分方程式の解の研究に関連する問題解決に適用する方法を示しています」

アルネ・B・スレッツショ、ノルウェー大百科事典 2025

フランスのピエール・シャピラ氏との協力関係は、書籍『Sheaves on Manifolds』の出版につながりました。数十年にわたり、柏原氏は代数学、幾何学、解析学を新たな方向性で結びつけてきました。彼は 70 人を超える数学者と協力し、その専門的な正確さで知られています。

仕事以外の時間には、卓球を楽しむことが好きです。妻の絃子氏と共に静かな生活を送っています。

この記事の出典は次のとおりです。

アーベル委員会によるシテーション、ノルウェー科学文学アカデミーのバイオグラフィーとプレスリリース、アルネ・B・スレッツショによる SNL.no の記事、Abelprisen.no（ティマンドラ・ハークネスとアルネ・B・スレッツショによる柏原氏の数学に関する記事）。

2025 年アーベル賞受賞者のプレスルームは Abelprisen.no に掲載されています。

本文の一部は Chat GPT4 で作業後、編集確認を受けています。

